

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		スポーツ振興課
	06	02	01	02	01	

政策
誰もがスポーツを楽しむ環境の整備

政策の内容

大規模施設整備については、多様化するスポーツニーズへの対応を意識しながら計画的に進めます。プロスポーツチームとの連携による観戦機会の創出や、国際大会・全国大会の積極的な誘致を進めます。ハード整備とソフト事業の一体的な取組を進めることで、スポーツが持つ「まちを元気にする力」を産業の成長や地域経済の活性化などにおいても最大限に活かし、にぎわいを創出します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。	2.22	2.29				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが身近にスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツの推進を通じた「する・みる・ささえる」体制づくりのため、ハード、ソフト両面の環境整備に取り組んでいる。
 ・東京2025デフリンピック大会の事前合宿の受け入れ準備のほか、レガシー協定に基づくブラジル選手団事前合宿やベトナムサッカー代表合宿の受け入れ、2026年アジア競技大会に向けた調整などを実施し、スポーツが持つ「まちを元気にする力」を最大限に引き出し、地方創生の実現に繋げている。
 ・スポーツ施設の老朽化に伴い、施設設備の不具合により施設運営を休止する事例が発生している。また、建設年度が古く、ユニバーサルデザインに対応しきれない施設がある。今後、社会ニーズの変化に対応し、スポーツ環境の向上を図る。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	5,346,042				
決算	5,864,064				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	5.6				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
大型スポーツイ ベント等誘致事 業	・レガシー協定に基づく、ブラジル選手団の事前合宿受け入れを実施する ・ブラジルろうあスポーツ連盟との協定に基づく、2025東京デフリンピックの事前合宿受け入れを実施する ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金を交付する ・ナショナルチーム、プロチーム、実業団の事前合宿の誘致及び合宿補助金を交付する ・大型スポーツイベントの誘致に向けた首都圏スポーツツーリズム展示会での誘致活動を実施する ・ブラジルとのスポーツを通じた相互交流促進のため、ブラジルオリンピック委員会主催のブラジリアンユーススクールゲームズ2025大会に浜松選手団を派遣する ・愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた組織委員会と連携する ・サーフィン国際大会を開催する	69,704
		41,048
ビーチ・マリンス ポーツ推進事業 管理運営事業	・ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、江之島ビーチコート整備・運営事業を実施し、ビーチスポーツの拠点を整備することで、本市独自のブランド価値を創出する ・遠州灘海浜公園江之島地区について、指定管理者制度により管理運営する ・サーフィンなどの海岸利用者のため、海岸防災林管理広場を管理する	10,991
		11,864
スポーツ施設運 営事業	・スポーツ振興費で管理する浜松アリーナなど56施設の管理運営及び施設整備を実施する ・浜松アリーナリニューアル整備に向けた入札公告等を実施する ・新武道館整備に向け施設規模や建設地を決定する ・四ツ池公園運動施設の野球場防球ネット設置工事や陸上競技場の第2種公認更新工事等を実施する	5,265,347
		5,811,152

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
スポーツイベント等開催事業費補助金の実績数(件)	補助対象事業の交付実績数	大型スポーツイベント等誘致数の実績と連動するものであり、短期成果指標の増加と比例するため	目標値	-	15	15	15	15	15
			実績値	13	16				
			達成率	-	107%				
市有スポーツ施設の適切な管理の決算額(千円)	スポーツ施設整備事業の実績額 ※2024実績値は決算整理	施設の日常点検の確実な実施により、危険箇所や不具合の把握に努め、中長期の視点から計画的に改修を進めるとともに、インクルーシブなスポーツ環境整備のため、施設のユニバーサルデザイン化と誰もが利用しやすい環境を整備するため	目標値	-	430,000	430,000	430,000	430,000	430,000
			実績値	986,030	2,396,836				
			達成率	-	557%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
大型スポーツイベント等誘致数(件)	大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致数	スポーツ文化の定着を目指し、地域で活動するスポーツチームを応援する機運を醸成し、アスリートの競技を間近で観戦できる機会を創出することで、市民のスポーツへの関心を高めるため	目標値	-	40	40	40	40	40
			実績値	47	36				
			達成率	-	90%				
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)	市有スポーツ施設の延べ利用者数(スポーツ振興課所管の56施設) ※2024実績値は決算整理	市民が多様なスポーツに気軽に参加できる機会を創出するため	目標値	-	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績値	4,630	4,795				
			達成率	-	107%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ(運動)をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と答えた市民の割合	実績値	54	43					65
			達成率	83%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」「年に1回程度」と答えた市民の割合	実績値	39.8	33.1					50
			達成率	80%	66%					
成人の年1回以上のスポーツ支援実施率(%)	○	市民アンケートにおいて「過去1年間にスポーツ活動の支援をどの程度行ったか」との質問に「ほぼ毎日」「月に数回」「年に1回」と答えた市民の割合	実績値	12.3	11.1					35
			達成率	35%	32%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能し、市民に活力が生まれ、にぎわいが創出されている。
年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が定着している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
大型スポーツイベント等誘致事業	<オリンピックレガシー 国際交流> ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿の受け入れ ・ブラジリアンニュースクールゲームス2025参加に伴うブラジル訪問 ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団支援 <国際大会> ・サーフィンの国際大会(WSL)開催負担金 <全国大会開催> ・第37回全国高等学校選抜ローイング大会開催負担金 <誘致・PR活動> ・スポーツチーム・アスリート向け総合展2025-Japan Sports Week-への出展 ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付16件 ・浜松市スポーツコミッションPRツール作成	・大型スポーツイベント等の誘致に関して、情報発信・情報収集の方法について有効な手法の検討が必要である。 ・新武道館整備や浜松アリーナリニューアル整備など、整備終了後に行うスポーツイベント等、新たな大会の誘致に努めていく。
ビーチ・マリンスポーツ推進事業 管理運営事業	・ビーチスポーツの拠点を整備することで、本市独自のブランド価値を創出するため、ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、江之島ビーチコート整備・運営事業の契約を締結し、整備に着手した。 ・遠州灘海浜公園江之島地区内のビーチコート及びアーチェリー場について、指定管理者制度により管理運営を実施した。 ・サーフィンなどの海岸利用者のため、海岸防災林管理広場の管理を適切に実施した。	令和6年度の入札が不調となり、事業計画が遅れていた江之島ビーチコート整備運営事業について、施設規模などを見直すことで契約が成立し事業開始に至った。 唯一のビーチスポーツ拠点であることから、利用者の安全を確保したうえで既存コートの運営を継続しながら新コートの整備を進めていく。
スポーツ施設運営事業	・スポーツ振興費で管理する浜松アリーナなど56施設の管理運営及び施設整備を実施した。 ・浜松アリーナリニューアル整備事業について、RO方式による入札を実施したが不調となった。 ・新武道館整備に向け施設規模や建設地を決定し、令和8年2月の市民文教委員会において報告を行った。 ・四ツ池公園運動施設について、浜松球場のスコアボード改修のほか、陸上競技場の第2種公認更新工事などを実施した。	暑熱対策やユニバーサルデザイン化など、時勢に沿った要望が増加しているが、築年数の古い施設は躯体構造が問題となり対応が進まないことが課題となっている。 新武道館整備や浜松アリーナリニューアル整備など、施設の更新や大規模改修の際に、時勢に沿った機能向上の実施を含めた計画的な施設整備に努めていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

大規模施設整備については、令和6年度の入札が不調となり事業計画に遅れが生じた江之島ビーチコート整備運営事業について、事業契約を締結し施設整備に着手した。このほか、新武道館整備事業について建設候補地を決定したことから、計画的な整備に努めていく。

2026年度以降は、浜松アリーナリニューアル整備の入札が不調となったため、その要因を整理し、整備手法をRO方式から従来発注方式へ変更し、利用者が安全安心に利用できるよう老朽化した施設設備の改修を着実に進めていく。

このほかスポーツ施設整備については、暑熱対策やユニバーサルデザイン化など、時勢に沿った要望が増加しているが、築年数の古い施設は躯体構造が問題となり対応が進まないことが課題となっている。

2026年度以降は、暑熱対策についての方針を整理し、優先すべき施設を除き、施設の更新や大規模改修を基本として、時勢に沿った機能向上の実施を含めた計画的な施設整備に努めていく。

大型スポーツイベント等誘致事業については、東京ビックサイトで開催される「スポーツチーム・アスリート向け総合展2025-Japan Sports Week-」に本市としてブース出展し、国内外のスポーツ主催者、競技団体等の来場者に対して、市内スポーツ施設、大規模大会・合宿案内等を発信したことで、スポーツイベント等開催事業費補助金においては、前年度を上回る補助金の交付件数となった。

また、市内の施設を活用したプロスポーツの試合件数も前年度を上回ることができ、レベルの高い試合を間近で観戦する機会の創出につなげることができた。

2026年度以降は、SNS等の活用等さらなる情報発信に努め、レベルの高い国際大会や全国大会の誘致、プロチーム等の試合観戦機会の創出など、市民のスポーツへの関心が高まるよう取り組んでいく。